

週目点

川本 裕子 早稲田大学教授



▶2005春夏コレクション

強まる日本の「文化力」

今週は「二〇〇五春夏パリ・オートクチュールコレクション」が開催される。一時に比べ規模は小さくなったが、世界が注目するファッションのイベントだ。

そこでは森英恵氏らのデザイナ―が早くから活躍し、日本文化の名声を高めてきた。そういう意味では、今流行の「ソフトパワー」日本版のしりとも言える。

日本は経済成長とともに、映画・音楽などの世界市場で重きをなす文化消費大国となった。最近ではすしなど日本の食文化への関心とも相まって、Jポップやアニメ、ゲームなどポップカルチャーの輸出競争力も強まっている。「豊かな社会」に育った若い人は、文化を作り出して発信する力を強めているのだ。

ファッションもポップカルチャーも国境を越えた競争社会である。政府の保護により伸びるものではない。政府は、才能ある若者が希望を持てるような社会づくりを進めることに集中すべきだろう。

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。